
巻頭言

コロナ禍がもたらすポジティブな変化

公益社団法人日本防犯設備協会 常任理事
株式会社東芝 経営企画部 企画・IR室
官公庁渉外担当 シニアマネージャー

子安 信彦



前回、「日防設ジャーナル」2019年陽春号の『巻頭言』に寄稿させていただきましたが、早いもので2年が経過しました。この2年で、世の中が大きく変化しました。

2年前には、東京2020オリンピック・パラリンピック等の大きなイベントの開催で、訪日外国人の数が増加し、様々な形での犯罪の増加が懸念されるため、協会活動の重要性が増していくと記載しました。ところが、2020年初めからの新型コロナウイルス感染拡大を受け、厳しい状況が大きく続き、海外との往来が制限され、東京2020オリンピック・パラリンピック等大きなイベントが延期または中止されました。

新型コロナウイルス感染拡大とともに、私たちの日常生活も大きく変化しました。働き方も大きく変化しました。政府からの要請を受けて、各企業が在宅勤務を導入する大きな転機となりました。

当社も昨年来、感染拡大防止対策を徹底するため、出社率目標値を職種別に定め、在宅勤務が可能な者は在宅勤務を徹底しております。在宅勤務の効果を上げるために、Teams等のプラットフォームを使用した、オンライン会議が一般化しました。コロナ前は対面での会議が当たり前でしたが、オンライン会議の利用により、会議の生産性の向上が確認されました。オンライン会議では、出席者のスケジュールの調整が容易になり、遠方からの会議への参加も可能になりました。また、オンライン会議の性格上、会議時間も短縮されました。在宅勤務の有効性が確認され、アフターコロナの世界でも在宅勤務が一般化すると思われます。

ところで、在宅勤務には、通勤の機会が減ることにより運動量が激減するリスクがあります。

私事ですが、運動不足解消のため、意識的に、在宅時には毎朝散歩をします。自宅周辺の二ヶ領用水沿いを毎朝30分歩き、自然を大いに感じております。早咲きのカワヅザクラ、シダレザクラ。白や紅色の花桃。ソメイヨシノにヤエザクラ。泳いでいるカルガモの親子。この生活習慣の変化により、贅沢な時間を得ることができました。ご参考ですが、二ヶ領用水は、川崎市多摩区から幸区を流れる全長32kmの人工工業用水です。昨年3月に、用水として全国で2例目となる国の登録記念物に登録されました。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。



二ヶ領用水沿いの桜

最後になりますが、協会も大きく変化します。2021年度から防犯設備士養成講習・資格認定試験のIT化を実施します。オンライン活用により、感染予防が図られ、受験生の利便性が大幅に改善され、受験者数が増えることが期待されます。協会活動の益々の活性化を祈念します。